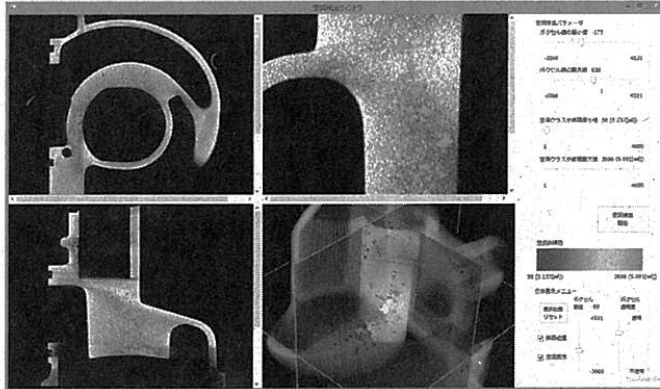


CTソフト無料提供

アールエフ活用広げ装置拡販

スの検出ソフトで解析した対象物内部の画像



空洞解析、データ化支援

【長野】アールエフ(長野市、丸山次郎社長、026・225・7733)は、コンピュータ断層撮影装置(CT)を使って被写体内部の空洞(鬆)を解析するソフトウェアを4月下旬から無料提供する。同社の産業用X線CT専用開発した。ユーザーは算出した鬆の体積比などの数値を製品管理に生かせる。顧客満足度を高め、非破壊で対象物を観察する同装置の拡販につなげる。

無料配布する「スの属から食品・食材、樹検出ソフト」を使うと、任意に指定した範囲で鬆を検出し、被写体と鬆の体積比を算出できる。検出できるのは0.1mm以上の大きさの鬆で、対象素材は金

脂、木材などX線CTで撮影できるすべて。体積比を基準に製品の良否判定の目安にすることができ。パイ菓子や煎餅類といった空気層の多い食品に使

えは、食感の数値化に役立つ可能性がある。アールエフの産業用X線CT「NAOMI-CT」ユーザーに登録した顧客にダウンロードアドレスを案内する。

同装置で撮影した画像から製品の品質に影響を与える鬆は可視化できる。ただ、ユーザーからはさらに鬆をデータ化する手段を求めた声があった。今回このほか3次元(3D)機能のCTで2次元(2D)撮影ができるソフトも無料で配布する。ユーザー参加型で開発した各種ソフトを今後も配布する方針。同社は16年に3Dの産業用X線CTを280万円で製品化して車・食品メーカーなどに納入実績がある。

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

3月25日 曜日
2019年(平成31年)

2019年3月25日発行 (第23096号)
9面に掲載